

最新鋭の心臓超音波診断装置導入



心臓超音波検査は、小さな超音波発信器を胸に置いて拍動している心臓をテレビ画面に映し出す検査です。心臓肥大や収縮性などを知るのに有用です。超音波は無害で痛みがなく、15分で終わるので身体に負担のない検査です。

さて、宇陀市立病院では、今年2月から、最新鋭の心臓超音波診断装置SONOS 7500(フィリップス社製)を導入しました。この装置は、心臓を3次元表示(立体表示)できる世界で唯一の機種です。心臓の構造・動きが鮮明にわかることから、心奇形や弁の観察などに威力を発揮しています。以前と同様に血液の流れをカラー表示できることは言うまでもありません。

心臓は、収縮拡張をくり返して全身に血液を送り出すポンプのはたらきをしています。このポンプ作用がおとろえると心不全です。最近、心不全の診断には、収縮能だけでなく拡張能にも注目すべきと学会でいわれるよう

になりました。新しい装置は、拡張能の測定が得意です。

また、この装置では経食道心エコーが可能で、これは、先端に超音波発信器のついた細い管を胃カメラのように口から飲んで食道側から心臓をみる方法です。心臓の奥に位置する左心房をくっきりと映し出すことができるので、血栓(血のかたまり)のできやすい心房細動という不整脈の方には有益な検査です。特に脳塞栓症を発症した方は、受けておくことをおすすめします。

このように、新しい心臓超音波診断装置により診断精度が向上しましたので、的確な治療方針が立てやすくなりました。

なお、この装置の導入にともない4月から心臓ドックを始めます。これは、心臓超音波検査・採血・検尿・胸部レントゲン・心電図と内科診察を午後半日でを行い結果をその場で通知するものです。診察と結果判定は、日本循環器学会から認定された専門医が行います。心臓に不安のある方は、ぜひ受診してください。(内科 矢崎晃広)

検診日 毎週月・金曜日(祝日は除く)

午後1時受付開始

健診料金 20,000円(税込)

脳ドックの実施について

突然働き盛りをとおそうくも膜下出血、中年から老人にかけて多くみられる脳血管障害(脳出血塞)など、最近特に脳の病気が注目を集めています。身体他の臓器や大脳も加齢と共に脳萎縮などの生理的変化が生じてきます。

自らの脳の状態を正確に把握されることで、健康管理の一助になればとの目的で脳ドックを実施します。当ドックの検査は、痛みなどの苦痛を伴うものではありません。検査は神経内科・放射線科などの専門医によって総合的に判断されます。

検査日 毎週金曜日(祝日は除く) 完全予約制

午後1時より受付開始、半日間で終了予定

予約申込 当院医務課まで

検査項目 身体計測(身長・体重) 神経内科診察及び検査(血圧・高次機能検査) 血液検査(末梢血液・肝機能・腎機能・ヘモグロビンA1C・尿酸酸・脂質) 頸動脈検査(頸動脈エコー) MRI検査

(磁気共鳴断層検査) MRA検査(磁気共鳴血管検査) 眼科検査(視力・眼圧・眼底検査) 尿検査 心電図検査 胸部X線

健診料金 39,900円(税込)[人間ドックとの併用受診の場合は、15,750円(税込)]

人間ドックの費用(36,750円税込)は別途必要。

留意事項 午後からの検査ですが、昼食は食べないで来院してください 検査内容の都合により、金曜日のみとなります 人間ドックと兼ねて受診できます(金曜日のみ)

[次の項目に該当する方は受診できません]

- ・心臓ペースメーカー・心臓人工弁(金属製)を装着されている方
 - ・脳動脈瘤の手術をされた方
 - ・現在妊娠されている方
 - ・狭い場所に入ると気分が悪くなる方(閉所恐怖症)
- 詳しくは、病院にお問い合わせください。

【外来診察のご案内】

新しい医師の紹介



常勤医師として、眼科の阪上祐志先生の後任に葛城良昌先生が着任しました。

泌尿器科・眼科

4月から外来診察(泌尿器科・眼科)は下記のとおりとなります。

	月	火	水	木	金	土
泌尿器科	鳥本		田中(雅)		田中(洋)	
眼科	葛城	葛城	葛城	松田	葛城	担当医

小児科

4月から外来診察は下記のとおりとなります。

外来診察担当医が下表のとおり変更となります。

入院患者の回診などで、外来診察の開始時間が少し遅れることもあります。

	月	火	水	木	金	土
診察	鈴木	岸本	鈴木	辰巳	辻村	鈴木
慢性外来(午後3時~)		鈴木		鈴木		
予防接種乳児検診(午後3時~)	鈴木					

慢性外来、予防接種および乳児検診は予約制です。乳児検診も予約制に変わりましたのでご注意ください。